

S S T L

NO. 67 2020. 5. 6

職場参加ニュース

2020年6月13日(土)

14時

16時

30分

受付

13時

30分

()

※コロナ感染予防のため休館の場合は、日程等の変更もありえます(電話、メールで)確認を)



会場：越谷市中央市民会館5F・第4、5、6会議室

参加費：会員500円・非会員700円(資料代)/休館の場合は別の方法で開催・情報発信します)

(なおシンポに先立ち同会場にて、13:15~13:50 定期総会を行います)

「障害者活躍」を問う

—その存在は「不要不急」かそれとも

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会総会記念シンポジウム

パネリスト：清水克彦さん(聴覚障害を持つ埼玉県職員)
伝田ひろみさん(さいたま市議・障害者の政治参加
全国ネット代表)・映像参加
松田和子さん(特定非営利活動法人 視覚障がい者
支援協会・ひかりの森理事長)
大塚眞盛さん(就労移行支援「世一緒」支援員)
澤 則雄さん(津久井やまゆり園事件裁判映画製作
者) ほか

コメンテーター：斉藤秀樹さん(越谷市障害福祉課調整幹)

石塚卓也さん(越谷市人事課副課長)

コーディネーター：朝日雅也さん(埼玉県立大学教員)

手話通訳(依頼中)

後援：越谷市 ・ 春日部市(予定)

主催：NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会

連絡：048-964-1819(要7回コール) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp

会員の皆様へご案内

NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会 2020年度定期総会

- 日時 : 6月13日(土) 13:00-13:50 (12:30より受付)
- 会場 : 越谷市中央市民会館5F 第4、5、6会議室
- 議案 : 2019年度事業報告、決算報告、監査報告
2020年度事業計画案、予算案
定款変更(障害児相談支援事業を追加)、役員改選
- 表決・委任 : 今年度は、定款第28条の「書面表決または代理人委任」を会員が
確実にを行うことで、当日出席は出来なくとも会の活動について賛成や
反対などの意思を示せるよう、前もって議案、書面表決の文書、委任
状を返信用封筒とともに正会員にお送りします。

定款第28条 総会における書面表決等

やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前2条及び次条第1項第3号の規定の適用については、出席したものとみなす。

👣 6月13日(土)会えても、会えなくても…今年も一緒に歩き出そう! 👣

総会記念シンポジウムのご案内

- 日時 : 6月13日(土) 14:00-16:30 (12:50より受付)
- 会場 : 越谷市中央市民会館5F 第4、5、6会議室
- テーマ : 「障害者活躍」を問うーその存在は「不要不急」かそれとも
- 概要 : 1、3ページを見てください。以下、パネリストについて少し補足。

清水克彦さん(聴覚障害を持つ埼玉県職員)

・・・知事会見に手話通訳を要望し実現したが

伝田ひろみさん(さいたま市議・障害者の政治参加全国ネット代表)・・・映像参加

・・・全国の自治体の計画作成状況は

松田和子さん(特定非営利活動法人 視覚障がい者支援協会・ひかりの森理事長)

・・・コロナ下でガイドや情報保障は

大塚眞盛さん(就労移行支援「世一緒」支援員)

・・・自治体現場での働き方、本気で開拓するには

澤 則雄さん(津久井やまゆり園事件裁判映画製作者)

・・・「障害者は社会に要らない」のか

開催方法 : 新型コロナ感染症に関する社会状況に伴って、会場の休館や使用制限
などが生じる場合は、それに応じて開催方法を変更して行います。
Facebook、ブログ、HPなどでお知らせしますが、予めメールでお申し
込みいただければメールでお知らせします。

メール : shokuba@deluxe.ocn.ne.jp



「障害者活躍」を問う—その存在は「不要不急」かそれとも



2020年度定期総会記念シンポジウムに寄せて

♥「水増し?!」みんなウソだったの?

2018年、多くの省庁、自治体で露呈された障害者雇用の水増し問題は、民間企業に率先して範を示すと位置付けられてきたことが嘘だったとして、障害者雇用促進法そのものの根拠が覆されかねない危機を強く印象付けました。

これを受けて、省庁、自治体は、水増しに至った経緯の検証と法定雇用率を早急に達成するための計画を立て、間もなく雇用を開始しました。しかし、そもそもお手本になるべき省庁・自治体が、多くは長年にわたり水増しをしてきた背景には、「障害者はお荷物」、あるいは「どうつきあったらいいかわからない厄介な存在」といったホンネが、職場に広くゆきわたっていたのではないのでしょうか。そうしたホンネと向き合わないままの数合わせでいいのかといった疑問が、あちこちから発せられました。すでに2015年、障害者雇用促進法が改正され、障害者差別禁止指針と合理的配慮指針が策定されたにもかかわらず、省庁・自治体はあたかも民間事業主だけの問題としてスルーしてしまったとしか受け取れません。

♥「障害者の参画」? ブラックジョークじゃないよね

かくて、2019年、障害者雇用促進法が再度改正され、すべての省庁・自治体において、2020年4月1日までに障害者活躍推進計画を策定することが義務付けられました。この改正法に基づき、2020年2月、厚労省は作成指針及び作成の手引きを策定し、総務省の通知とあわせて、省庁・自治体に通知しました。

この作成指針には、「特に、公務部門における障害者の活躍は、我が国の政策決定過程（障害者雇用政策に限らない）への障害者の参画拡大の観点からも重要である。」という考え方が書き込まれています。また作成過程への障害者職員の参画が求められています。

また作成の手引きでは、非正規雇用の職員の継続雇用や賃上げ、正規雇用へのステップアップの課題にも言及しています。さらに、知的障害者、精神障害者及び重度障害者に対する選考方法や職務の制定の工夫を行って、積極的に採用することが書かれています。

さらに「民間事業主における障害者の活躍を促進するため、法定雇用率以上の対象障害者を雇用していること等を国及び地方公共団体の公共調達競争参加資格に含めることが望ましい」の記述もあります。

このように、これまでの省庁・自治体の障害者雇用のありかたを大きく変えようとする指針や手引きの内容にも関わらず、各省庁や全国の自治体で策定され、公表された限りの計画を見る限りでは、ほとんど何も変わっていないところも多いように見受けられるのは残念な限りです。

♥「障害者は要らない?」地域に密着した自治体の出番です

では、地域社会の現状はどうでしょうか? 昨年の記念シンポジウムや共に働く街を創るつどいでとりあげられた障害者雇用率代行ビジネスが急成長を遂げていることに示されるように、さまざまな障害者が差別なく共に働くという雇用促進法の建前は空洞化し、教育や福祉分野も共に生きる地域を支えるよりも人材ビジネス等の市場競争の草刈り場になり、人を分け隔てる場が変わってゆく状況が深まっています。

その流れにもまれている障害児者や家族、支援者に、がんばって社会参加し、地域共生をと呼びかけるだけでなく、上記作成指針にあるように、「公共」のありかたを変えるため、その政策決定過程へのさまざまな障害者参画の拡大を、省庁・自治体は自らの責務として担うことから始める必要があります。

新型コロナで「不要不急の外出」という言葉が語られますが、公務部門で働くさまざまな障害者は数合わせのための、いつでも取り換え可能な「不要不急な存在」になっていないのでしょうか。

「政策決定過程への障害者の参画」がその程度でしかないのなら、津久井やまゆり園事件の植松死刑囚の「生産性がない障害者はいないほうが良い」という主張を、偏見、差別として批判できるのでしょうか。

感染のニュースばかりの日常の背後で、多くの大事なことが「不要不急」にされかねないいまこそ、たとえ会場でみんな顔顔を合わせるができなくなったとしても、なんらかの形で考え合い、語り合う場をもちたいと考えています。

知事会見に手話通訳導入相次ぐ 新型コロナ情報「誰もが同時に受け取れるよう」

毎日新聞 2020年4月17日 13時10分(最終更新 4月17日 13時10分)



記者会見を手話通訳をつけて行う大阪府の吉村洋文知事＝大阪府中央区で2020年4月13日午後3時46分、木葉健二撮影

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、知事の定例・臨時の記者会見の際に手話通訳を導入する流れが加速している。命に関わりかねない日々の感染関連の情報を聴覚障害者に迅速に届ける狙いだ。政府が7日に緊急事態宣言を発令した対象の7都府県では、今春から相次いで手話通訳者を配置。未対応は埼玉県のみだが、同県も「必要性は認識しており、調整中」(担当者)と準備を進めている。



手話通訳(右から2人目)も同席して記者会見する東京都の小池百合子知事(左)＝東京都庁で2020年3月30日午後9時14分、喜屋武真之介撮影

7都府県では、東京都の小池百合子知事や大阪府の吉村洋文知事のほか、神奈川、兵庫、福岡各県でも、臨時・定例を問わず知事会見に手話通訳者が原則同席している。「健康や命に関わる情報を、誰もが同時に受け取れるようにしなければいけない」(福岡県)、「会見内容は文書化して県のホームページに掲載するが、時間差がある。知事が県民にお願い事をすることもあり、全ての人にすぐに伝えることを考えた」(兵庫県)。いずれも感染拡大が導入の大きなきっかけになった。

千葉県では感染が拡大する以前から、森田健作知事の定例会見に手話通訳者を原則配置してきた。ただ、新型コロナウイルスに関する最近の臨時会見では、時間が急なため通訳者の手配が間に合わない状態が続いたという。

各都府県は新型コロナの終息後も手話通訳の配置を継続するとみられる。政府が緊急事態宣言の対象区域を全国に拡大したこともあり、同様の動きは他の自治体にも広がりつつある。

一方、未対応の埼玉県では、県聴覚障害者協会や県職員から早期導入を求める声相次ぐ。県の担当者は「昨年度から先事例を調査し、費用など課題の調整を続けている」と説明。県内のある聴覚障害者は「手話が『母語』である聴覚障害者には、文字おこしされた文章や文字情報を正確に理解することが苦手な人もいる。今回の事態を機に、手話通訳の必要性を正しく理解してほしい」と話す。【山田奈緒】

右の毎日新聞・山田奈緒記者による知事会見での手話通訳問題に書かれているように、対応が遅れた埼玉県では県庁の内部から聴覚障害をもつ職員5人が要望書を提出し、重要な役割を果たした。この聴覚障害を持つ県職員の代表が、昨年の「共に働く街を創るつどい2019」でパネリストを務めていただいた清水克彦さん。厚労省の障害者活躍推進計画の作成の手引きにある「政策決定過程への障害者の参画」の大切さを身をもって示したといえよう。今回の記念シンポにもおいでいただく。

2020年度会費、寄付、協力会費を納入いただきました(五十音順、敬称略)

【2020年度会費】岩崎廣司、上野豪志、沖山稚子、癸生川新一、佐藤恵美子、澤則雄、莊子敏一、鈴木照和、関一幸、野村康晴、贅田俊之

【寄付】水谷淳子

【かきくけプロジェクトほか協力会費】莊子敏一、贅田俊之

新型コロナ どうつきあってゆくか (耳鼻科開業医・水谷淳子さんすいごトーク記録)



範囲で反応して体を守る。その後で入ってきたウイルスに対応した抗体を獲得免疫というのだけれど、この抗体ができてくるのにだいたい2週間くらいかかる。

深いつきあいだから重い結果にも

ウイルスが体の中に入って来るというのは、受け手がいって、誘われて細胞の中に入ってくる。喉とか肺の細胞の中に、ACE2 っていう酵素がいて、ウイルスを体の中に引き入れちゃう。誘導する力が人間に備わっている。

じゃあなぜ重症化するかというと、ACE2 という酵素は免疫をコントロールするRASの働きを抑える酵素なんだけど、RASが勢いを持つと血圧が上がったり、老化の状態になる。RASを下げる働きをするのがACE2という酵素。そのACE2に導かれて、コロナウイルスの一部が細胞の中に入って増殖するわけ。ウイルスとACE2が合体するので、ACE2の力が下がっちゃう。するとRASの動きが強くなって免疫が下がったりする。元々病気持ちの人とかは老化の状態なわけなんだけど、一挙に進むから、高齢者とかが重症化しやすいと言われているのは、そういう理由。

ウイルス感染と生体防御

コロナはインフルエンザと比べて潜伏期が長い。感染して1週間目は無症状か、風邪の症状が出るか。2週間目くらいに、治る人と重症化する人のグループに分けられる。どのウイルスが入って来ても、最初に入って来た時は自然免疫が働いて、広

信用できぬ日本の新型コロナ統計

うまくウイルスをやっつける人達が結構多くて、8割。2割が重症化する。死亡率は確定してないが、日本の報道を見てるとすごく高い。普段のインフルエンザの10倍くらい。コロナウイルスは今までも猛威をふるっていて、2002年にSARSコロナウイルス、2012年にはサウジアラビアでMERSコロナウイルスが流行した。それよりはちょっと弱いんじゃないかって今の時点では言われている。

死亡率は、最初は高く出るが、最終的に分母が増えるので下がって来る。日本は今、分母がめちゃくちゃなんで全くわからない。検査を希望しても95%くらいは拒否されている。

なぜ検査数を絞っているのかというと、利権がすごい絡まっているんじゃないかと思う。たくさんデータが集まると収拾がつかなくなるし、国立感染研究所にデータを絞りたいくて、そうしてるんじゃないかと。ドイツでは最初、住民の5%くらいが感染してたんじゃないかと言われていた。抗体検査をしたら、15%くらい。予想より大勢の人が感染していて、あまり症状を出さないで治っている。だから、実際かかって治った人はすごい多いんじゃないかと。

公衆衛生、疫学が衰退し先端医学が栄える現場

私が学生の時は公衆衛生や疫学の教室というか、学科があった。でも、遺伝子工学とかワクチンの開発の研究の方が儲かるということで、今はかろうじて大学院に少し残っているくらいで、公衆衛生の教室を持っているところがない。感染症研究所は、病気の広がりとか情報を研究する疫学とか公衆衛生の部門がなくなっている。保健所も減り、衛生研究所も小さくなっている。こういう時に現状はこうだとか、国の方針としてどうすればいいのか、というのがきちんと発信できないようになっちゃっている。

感染終息の見込みを抗体検査で

PCR検査というのは精度が60%くらい。抗体検査というのは特定のコロナウイルスだけに反応する獲得免疫という値を調べて、うつっているかうつっていないか、うつっても治っているのかがわかるというもの。PCRも抗体検査も、感染して2週間くらい経ってからの抗体検査の結果が信用できるといわれている。

日本でも徐々に抗体検査のキットを売り出しているけど、なかなかそれも手に入らない。自分達がうつる可能性がある医療関係者なんか、ガーンと申し込んでいるから。政府は1カ月後までに収束とか言っているけど、感染症というのはそんなに簡単に終わるわけがないわけで。ピークがどこにあるかというのをコントロールしないと。最初は、イギリスなどどこの国も集団免疫にもっていこ

「せん滅」でなく「共生」を一ウィルスは私たちの社会のありかたの見直しを問いかける

うとしていた。日本では集団免疫という言葉は大っぴらには全く出てこない。

せん滅でなく共生を探る

感染症というのはそもそもうつっていくわけだけど、60~70%の人がみんなうつっちゃえばあんまり死ななくなるかと思う。一度にかかると大変なので、なだらかにかかれば、ということをやっている。ウィルスをせん滅しようというのはありえない。みんなが好きな「共生」をしていこうということ。ウィルスはものすごく強くなって、人を全滅させるような力は持ちたくない。人間自体が死んじゃうと、ウィルスが生きていく術がなくなっちゃうから。それで発病する人もいるし、しない人も。例えば水疱瘡のウィルスは、かかったら神経の根元にずっといて、年をとって免疫力が下がったりすると、帯状疱疹になることもある。

〈質疑応答〉

ふれあうことの重要性

日吉: 帯状疱疹になることもあるという話があったが、ウィルスが体の中にずっといるのは感染ってこと?

水谷: 抗体検査をやれば最初の感染なのか、元々感染していたのかっていうのがわかるけど、帯状疱疹はわかりやすいから実際は検査しない。

最近小さい子は水疱瘡ワクチンを打っている。その時の抗体が長生きしているかどうかというと、だんだん抗体が減って免疫は劣化してくる。だけど、小さい子が水疱瘡をやって大人が触れると、水疱瘡は発症しないけど、子どものころ感染した記憶

がよみがえり、抗体がいちだんと元気づけられて、帯状疱疹が出なくなる。これをブースター効果という。

最近帯状疱疹になる高齢者が多い。水疱瘡の子供がいなくて、「ブースター効果」ができなくなって、それで高齢者にワクチンを使うという流れになっているのではないかと。ウィルスや細菌にふれあってないと、抗体はできていけないということだと思ふ。

アビガンとワクチン

水谷: アビガンは増殖そのものをストップする薬。動物実験で催奇形性があるということで、十数年間、厚労省からの許可が降りなかったんだけど、2014年に新型インフルエンザにだけ使うならってことでようやく許可がおりた。政府が2000万人分備蓄しているが、それが今ものすごい人体実験をされている。

でも、対症療法だけでも治る率は高いので、薬が効いたかどうかはよくわからない。開発した人は症状が出始めた初期(5、6日目)に使わないと意味がないと言っている。

アルコールと手洗い、マスク

山崎: 手洗いやマスクの意味は?

水谷: 手洗いや石鹸は、洗いすぎはよくないけど、ウィルスの周りの脂質を融かすのでいいんじゃないかと言われる。

コロナウィルスの大きさをフットボールとすると、マスクの隙間は東京ドームくらい。サージカルマスクも通すし、布のマスクは完全に通す。ただ、くしゃみや咳などで痰や鼻汁が

もろに入って来るのは防げるし、他人に飛ばしてしまうのも防げる。

ほんとは蔓延しているだろう

澤: 基本的に今はどこにいますか? 爆発する曲がり角なのか。

水谷: 日本のデータって本当にめちゃくちゃだから、わからないんだけど...かなり「蔓延」しているんだろうな。「蔓延」という意味は、カウントされていない無症状、軽症の人がすごい数いるはずということ。

コロナ以外の病気が受け付けられなくなり、病院が機能しなくなっていくかなりひどい。

薬の安全性の問題と集団免疫

黒田: 薬のマウスの実験はうまくいってるんですかね。

水谷: ワクチンは薬じゃなくて予防なわけだけど、実用化されるのは来年の秋以降であろうと。人間に使って安全かどうか見極めるのにはかなり時間がかかる。ウィルスをやっつける薬というのは基本的にない。普段の生活でちゃんと食べてちゃんと寝て、そうやって暮らしながら社会の多くの人がかかっていくことで、季節性のインフルエンザのようになっていく。

インフルは多いか少ないかの違いで、夏でもいる。コロナに関してはまだよくわかってないんだと思う。来年も、とつてもじゃないけどオリンピックなんてできない。



C a f é News F



[2月5日 清水泰代さん]

生活クラブの組合員として、3年前から世一緒と交流が始まった。私の次男には自閉症の障害があって、小学校時代は学校や先生の理解が得られず苦しい思いをしたため、せっかく普通

学級に入れたものの2年生から支援学級のある学校に転校させた。今はカフェにじさんぽで働いているが、遅れてきた反抗期に手を焼いている。こうした生活や経験から、生活クラブなどでできることを投げかけているつもり。



われたが、病気だと自分で自覚すると治りは早く、今はほぼ妄想・幻聴はない。現在の仕事はパチンコ屋の駐輪場の管理。雇っていただけのありがたく、大変嬉しく思っている。



[3月18日 幡本建祐さん]

昭和50年生まれ。自閉症の障害を持っているが、僕の特徴は忘れにくかったり、フラッシュ・バックという過去の出来事を思い出す現象に襲われること。以

前は、不快な記憶のフラッシュ・バックが多かったが、会社やわらじのいい人達の出会いにより、楽しい出来事を思い出すことも増えた。生きやすくなり、周囲の人に感謝している。



[3月25日 菊地よし子さん]

(40年付き合ひがある臼井敏子さんから見たよし子さんの話)

一番最初は、わらじの会は怪しい団体じゃないのかとよし子さんのお母さんに疑われて、玄関のドアを開けてもらうまで4年ほどかかった。よし子さんは洗濯やお買い物ができるからお母さんも助かっていたはず。生活ホームもんてんに入居したのはお母さんが倒れてから。よし子さんは約束を必ず守る。一時期太り出したので歩きなさいよと言ったら、雨の日も風の日も歩くようになった。



[4月8日 澤則雄さん]

相模原障害者施設殺傷事件について独自に調べて映画を作り、各地で上映している。裁判には、16回あるうちの7回傍聴できた。この裁判

は何を裁くのかと心して聴いていたが、事件の核心に触れる新しい事実は何もなかった。終わった後は、この事件は一体なんだったのかという脱力感を感じた。自分で作った映画のタイトルは「生きるのに理由はあるの?」としているが、生きるために理由はいらないんじゃないかと思う。そういうふうには言い切れる社会じゃないと。



[2月12日 宮部幸絵さん]

参加していた音楽サークルに、わらじと関わっている人がいたのが最初の出会い。そのサークル仲間とわらじのメンバーと旅行に行き食事を手伝ったりし

たのがたぶん初めての介助。それから非常勤で働くようになったが、最初は意見を言い合っているのが喧嘩みたいで怖いと思って思っていた。2013年からはわら細工の専従職員。わら細工の良さは、他の人の暮らしに入りこめるところ。



[2月19日 黒田正巳さん]

辻さん、山田さん、清水さんといった越谷市民ネットワークの選挙の時にお手伝いとして関わ

るようになった。そのつながりで毎週月曜には子ども食堂にも手伝いに行くように。託児は黒田君しかいないといわれる。親御さんに感謝されるのは嬉しい。自分は障害者だけど、政治や子ども食堂に関わって、生きているのが一番幸せなこと。

[2月26日 工藤幸一さん]

今66歳。NPO法人くお一れの風の代表理事をしていて、障害者、主に精神障害者の日常生活及び社会生活を支援することを目的としている。34歳の時に統合失調症になったが、最初の10年は大変だった。妄想にとら

職場・地域ひろがりつうしん

●ハコのない施設になってない？



2月14日(金)、一社・埼玉障害者自立生活協会主催の「ハコのない施設になってない？地域巡業」の第6回目を、NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会が担当し、生活クラブ生協の越谷生活館を会場に「職場参加」支援・調整付きで働く：「職場参加史跡めぐり」と多様な事例紹介のテーマで開催しました。県の障害支援課からもご参加いただき、最後には、「いろいろな働き方があることが具体的にわかった」、「働く中でのしんどさを持ち寄ってほぐしてゆく場の大切なこと」等の感想を多数いただきました。

●うんとこしょー共に生きる街づくり



2月22日(土)生活クラブ生協越谷ブロック地域協議会、ケアシステムわら細工、職場参加をすすめる会のコラボで「越谷梅林公園に行こう！」を開催しました。そもそもは2017年に隔月で座学と街に出るプログラムを実施したのが始まりです。一緒にやれることを探り続けようということで、今年も皆で自己紹介やレクリエーションを行いながら梅見会、昼食、ふれあい囲碁などを楽しみました。

社団・ネット合同会議開かれる



3月26日(木)、越谷市市民活動支援センターで、一般社団法人埼玉障害者自立生活協会と埼玉障害者市民ネットワークの「社団・ネット合同会議」が行われました。

●はばたけ！しらこぼと笛プロジェクト



毎週金曜午後の Love Shirakobatto プロジェクトは、先週から原作者の人形師「ひな源」山崎昭二さんの指導の下に、しらこぼと笛の絵付け作業をしています。

生活クラブ生協越谷ブロック版「よ〜いどん！」市民事業助成で2口以上寄付をいただいた方々にこれからしらこぼと笛を送らせていただく予定です。

●コロナとつきあい、花壇整備中です



4月24日(金)、県営しらこぼと水上公園の花壇整備共同作業。この間に新型コロナで緊急事態宣言が発せられるなどの状況の変化があり、いつも積極的に参加してくれている施設・人が残念ながら少なくなっています。そんな中で本日のミッションは、満開のパンジー、ビオラを抜いて土をほぐす作業。大きく育った花株を抜きました。

職場参加をすすめる会

2020.5~2020.7 カレンダー

(2020.5.2作成)

2020年5月		2020年6月		2020年7月	
日	日中行事	日	日中行事	日	日中行事
1日	日中行事	1日	日中行事	1日	日中行事
2日	日中行事	2日	日中行事	2日	日中行事
3日	日中行事	3日	日中行事	3日	日中行事
4日	日中行事	4日	日中行事	4日	日中行事
5日	日中行事	5日	日中行事	5日	日中行事
6日	日中行事	6日	日中行事	6日	日中行事
7日	日中行事	7日	日中行事	7日	日中行事
8日	日中行事	8日	日中行事	8日	日中行事
9日	日中行事	9日	日中行事	9日	日中行事
10日	日中行事	10日	日中行事	10日	日中行事
11日	日中行事	11日	日中行事	11日	日中行事
12日	日中行事	12日	日中行事	12日	日中行事
13日	日中行事	13日	日中行事	13日	日中行事
14日	日中行事	14日	日中行事	14日	日中行事
15日	日中行事	15日	日中行事	15日	日中行事
16日	日中行事	16日	日中行事	16日	日中行事
17日	日中行事	17日	日中行事	17日	日中行事
18日	日中行事	18日	日中行事	18日	日中行事
19日	日中行事	19日	日中行事	19日	日中行事
20日	日中行事	20日	日中行事	20日	日中行事
21日	日中行事	21日	日中行事	21日	日中行事
22日	日中行事	22日	日中行事	22日	日中行事
23日	日中行事	23日	日中行事	23日	日中行事
24日	日中行事	24日	日中行事	24日	日中行事
25日	日中行事	25日	日中行事	25日	日中行事
26日	日中行事	26日	日中行事	26日	日中行事
27日	日中行事	27日	日中行事	27日	日中行事
28日	日中行事	28日	日中行事	28日	日中行事
29日	日中行事	29日	日中行事	29日	日中行事
30日	日中行事	30日	日中行事	30日	日中行事
31日	日中行事	30日	日中行事	31日	日中行事

○茶色の字のスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

○ほかのスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

○茶色の字のスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

○ほかのスケジュールは、主に小グループでの講座やミーティングです。詳しい内容についてはお問い合わせください。

世一緒スタッフ日記



今月の活動

新井 里佳

今は、初任者けんしゅうの学校に通っています。いろいろと大変な事がたくさんあります。だけど毎日9時から通っています。学校の人たちは仲よくなりました。毎日、笑いながら、じゅぎょうをやり楽しいです。今、コロナウイルスのえいきょうで休校になりました。学校の人たちは、障がい者なので一度に沢山のことをいわれるとこもらんしたりしてしまいますが、その辺のところをりかいしていただき自分のペースで仕事をさせてもらっています。今はコロナさわぎがさかんなため、お休みをあたえられてますが、早くおちついてほしいものです。まいしゅうどうよう日はちかくのしゅうかいじょうでコロナにまけずたつきゅうを2時間ほどしています。食歩きがおすすめです。自分もいつまで続けるかわかりませんが、できることをしっかりとこなしていきたいです。

B型で頑張っています

宗森 淳一郎

今はひよせB型事業所に頑張っています。色々な人たちがいて皆で協力しながら頑張っています。自分もいつまで続けるかわかりませんが、できることをしっかりとこなしていきたいです。

コロナで仕事を休んでいます

納谷 大二郎

僕は、兄のいるディーナネット

世一緒では、障害や病気その他の状況による働きづらさを、他の人々と共有し生きるために生きていくために、世一緒に関わっている人々を「スタッフ」と呼んでいます。サポーター(非常勤やボランティア)の支えを受けて、世一緒の当番(ピアサポーター実習)や「語る会」、身近な地域で必要とされる仕事(花壇整備、除草、ポスティング)のグループワーク等もしています。元スタッフ等からの近況報告も紹介します。なお2018年4月からはせんげん台に就労移行支援事業所「世一緒」が開所しました。こちらは制度により定められた職員がおり、通所2年の間に一般就労への支援サービスを提供する場となっています。当会は定められた支援ももちろん、自主事業の世一緒(越谷)と連携して、多様な就労やピアサポートも可能な展開をめざします。

ワーク株式会社で働いています。清掃を中心に1F〜6Fまでくまなくきれいに清掃しています。頼まれた時には書類作業など得意な事務作業をさせてもらっています。プライベートでは、会社の人達と一緒に体育館でビーチバレーボールを楽しんだりその後のみに行ったりしています。僕は、障がい者なので一度に沢山のことをいわれるとこもらんしたりしてしまいますが、その辺のところをりかいしていただき自分のペースで仕事をさせてもらっています。今はコロナさわぎがさかんなため、お休みをあたえられてますが、早くおちついてほしいものです。まいしゅうどうよう日はちかくのしゅうかいじょうでコロナにまけずたつきゅうを2時間ほどしています。食歩きがおすすめです。自分もいつまで続けるかわかりませんが、できることをしっかりとこなしていきたいです。

コロナで介助は

友野 由紀恵

わたしは、おおぶくろにすんでいます。15ねんめになりました。さいきは、学生のかいじよのひとが、よるのバイトがなくなったり、あ

今の仕事がとても好きです

S・N

病院で働きだして二年五ヶ月がたちました。仕事に少しずつ慣れてきたような気がします。今、六階病棟をうけもって仕事をしています。今年にはコロナが流行していて、私の働いている病院も受け入れをしているの、大変な部分もあり

新型コロナ下の当番

佐藤 景子

新型コロナに負けず毎週火曜日、世一緒の当番にきています。感染者が増えるばかりでどうしようもならないと思いました。

電話番の仕事やりたいです

大野 言弥

電話大好きです。電話番の仕事があったらやりたいです。仕事があったら就労移行支援「世一緒」に電話ください。

048-971-8038

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会



〒344-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 世一緒内 (ハローワーク斜向かい)

048-964-1819 (fax 共) shokuba@deluxe.ocn.ne.jp http://www.5b.biglobe.ne.jp/~yellow/